

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』
～ 田村 魚菜 (たむら ぎょさい) ～

1914 年 (大正 3 年) ～1991 年 (平成 3 年)

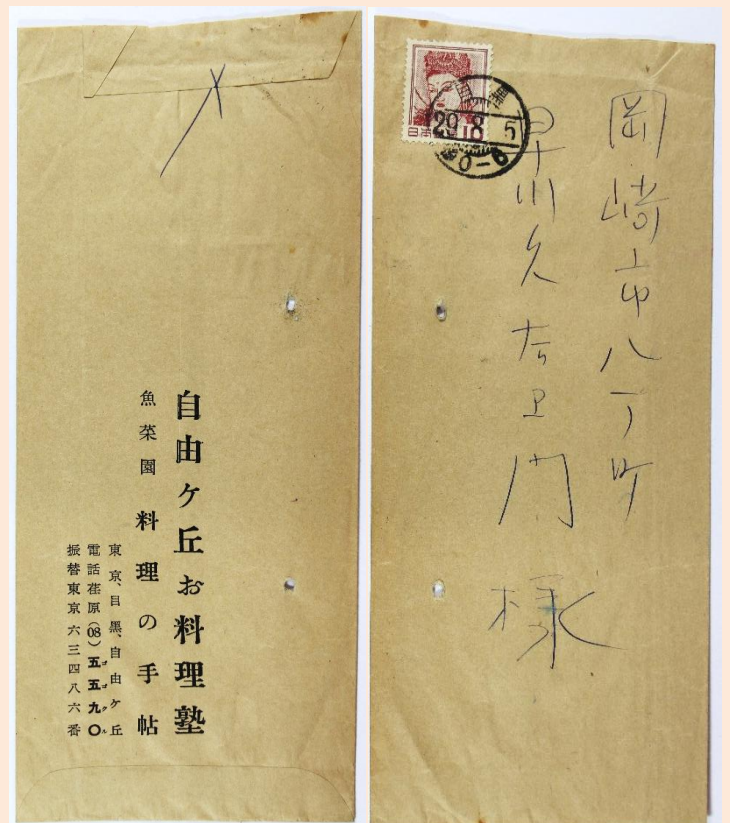
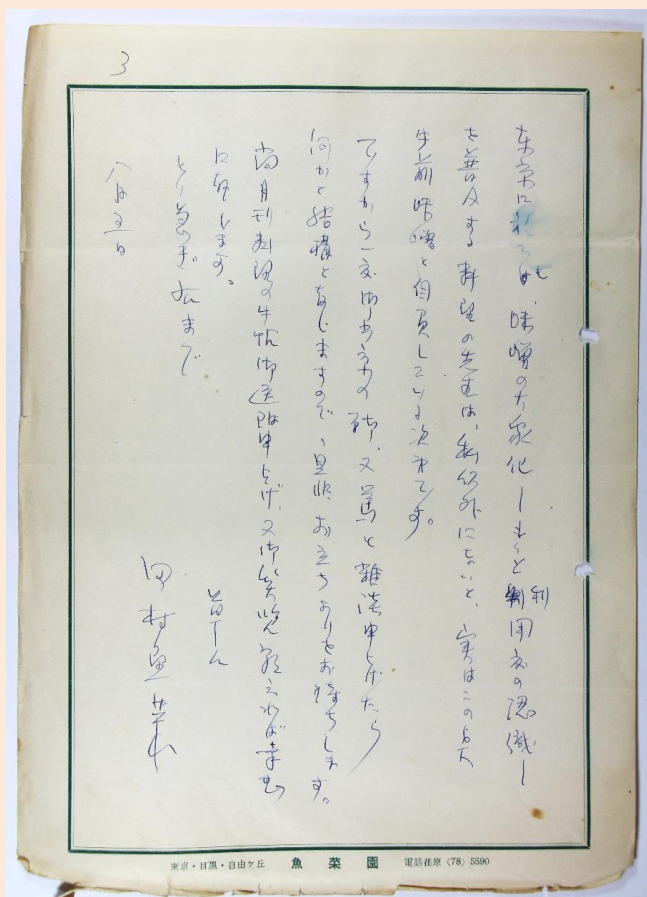
静岡県出身。料理研究家。魚菜学園「自由ヶ丘お料理学校」創設者。

小学校卒業後に東京の魚屋で丁稚奉公。その後、東京・京橋の本山萩舟が開店した「蔦屋」に弟子入りし日本料理を学びました。

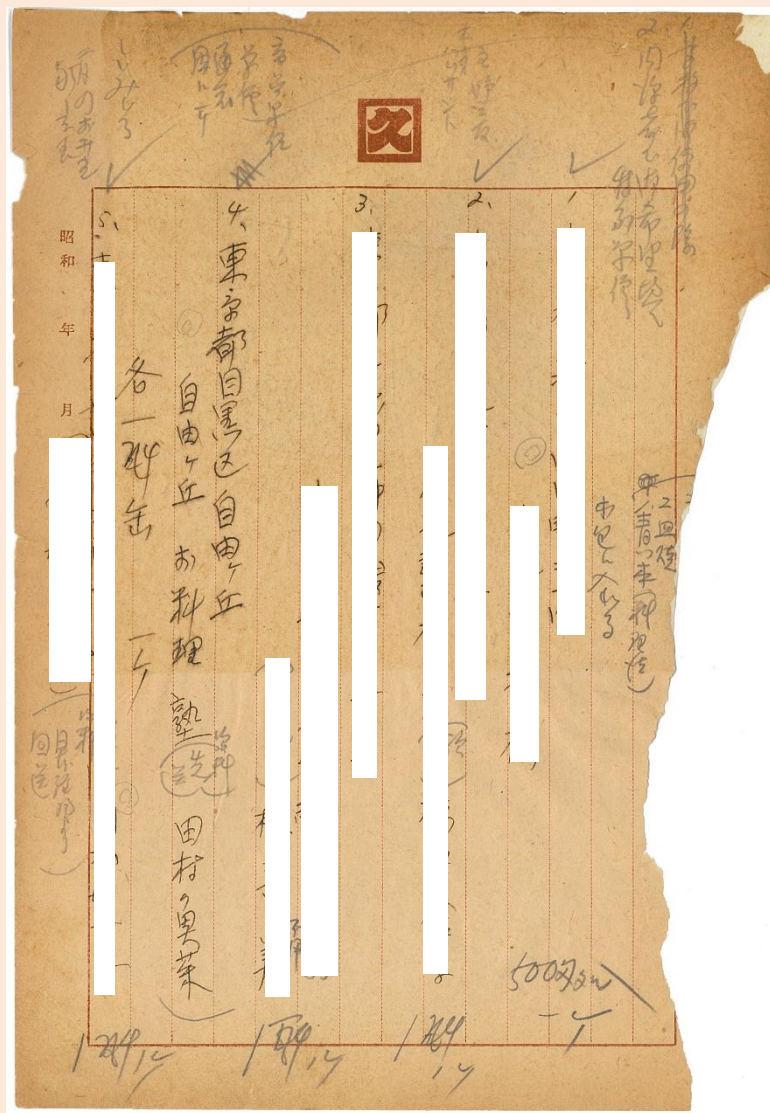
1949 年 (昭和 24 年) 自由ヶ丘お料理塾開設。テレビ、ラジオ、雑誌を通してわかりやすく実用的な家庭料理を紹介して人気を博し、家庭料理の普及と向上に努めました。

著書は 2500 種の料理を盛り込んだ、妻の田村千鶴子氏との共著『料理大事典』をはじめ、『魚菜のおそうざい・おふくろの味』、『現代女性を料理する』など多数。

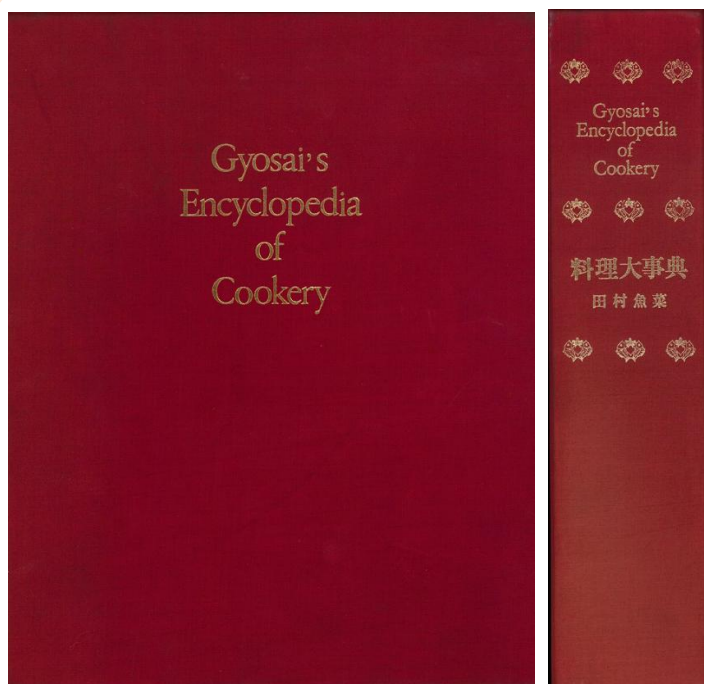
当社史料室には昭和時代に田村魚菜から当主宛に送られた手紙や味噌をお送りした記録が残っています。



田村魚菜の手紙 (昭和 29 年 8 月 5 日)



田村魚菜に味噌をお送りした記録（昭和 28 年～30 年頃）



田村魚菜 大正 3 年 11 月 23 日 旧新嘗祭の祝日生れ。本山萩井、四條流石井泰次郎両氏に師事。昭和 24 年自由ヶ丘お料理塾を開設。昭和 30 年同塾を学校法人魚菜学園に発展させ自由ヶ丘お料理学校を開校する。今日まで、テレビ、新聞、雑誌など広くマスコミの分野を通じ、且つ各種料理書を上梓し、家庭料理の普及と向上に努める。

昭和 48 年より台所道具の改善普及を企画し、株式会社へ魚菜を設立今日に至る。

学校法人魚菜学園理事長兼自由ヶ丘お料理学校校長、株式会社へ魚菜取締役社長著書『材料別料理事典』『魚菜のおでござい』『鮭魚菜のおそうざい』『おふくろの味』『魚菜のおべんとう』『すてきな魚菜』随筆『現代女性を料理する』など多数『魚菜』は本名

田村千鶴子 昭和 7 年東京下谷に生れる。都立第一高等女学校（現白鷗高校）を経て、昭和 29 年 3 月実践女子大学食物科卒業。国立栄養研究所連水博士の指導による卒業論文は『日本成人女子に於ける『カルシウム』の平衡試験』同年学校法人魚菜学園に教授として迎えられ、家庭料理の指導にあたる。昭和 31 年 7 月魚菜氏と結婚。学校法人魚菜学園理事、株式会社へ魚菜取締役社長。魚菜氏のよき協力者としてその発展に尽す。新聞雑誌に活躍し、最近出演のテレビ番組 人生相談は好評を博している。

■ 著者 略歴 ■

魚菜『料理大事典』（田村魚菜・田村千鶴子共著、昭和 52 年 7 月 1 日、学校法人魚菜学園出版局発行）